

建築研究資料 No.168 「型わくの取り外しに関する管理基準の検討」の公表について

この度国立研究開発法人建築研究所では、建築研究資料「型わくの取り外しに関する管理基準の検討」をとりまとめ、ウェブサイトに掲載しましたのでご案内致します。

建築基準法施行令第76条及び関連告示では、現場打コンクリートの型わくの取りはずしを行う場合には、試験体の圧縮試験等により一定以上の強度が発現していることを確認するよう定められています。一方、学術団体や民間企業等では積算温度を用いた強度推定手法など圧縮試験によらない方法による品質管理・検査方法や、これまで使用実績が少なかったセメント等のコンクリート用材料の積極的な活用が要望されています。

このような背景から、平成26年度に国土交通省建築基準整備促進事業「コンクリートの強度管理の基準に関する検討」が行われ、コンクリートの型わくの脱型におけるセメント種類に関する区分の見直し、積算温度などを用いた強度推定法を型わくの脱型に関する判定手法の検討、等が行われました。

本資料は、同課題の事業主体と（当時）独立行政法人建築研究所との共同研究で実施した調査・実験の結果、ならびに同課題終了後に実施した中・長期材齢の実験結果等を取りまとめたものです。また、後半の第Ⅱ編では、本検討で有効性が確認された積算温度を用いてせき板を取り外す際の具体的な実施方法を管理要領(案)として提案しております。

せき板の取り外しの管理を含む、構造体コンクリートや管理用供試体を用いた強度管理方法について実験・調査・検討を行った貴重な研究資料であり、今後のコンクリート工事におけるせき板の取り外しに係わる品質管理において、これらの研究成果が活用されることを期待しています。

ダウンロード URL

<http://www.kenken.go.jp/japanes/contents/publications/data/168/index.html>

**(内容の問合せ先)**

国立研究開発法人 建築研究所  
所属 材料研究グループ  
氏名 棚野博之 (たなのひろゆき)  
電話 029-864-6610 (直通)  
E-mail tanano@kenken.go.jp